

ロンドン、2019年10月1日

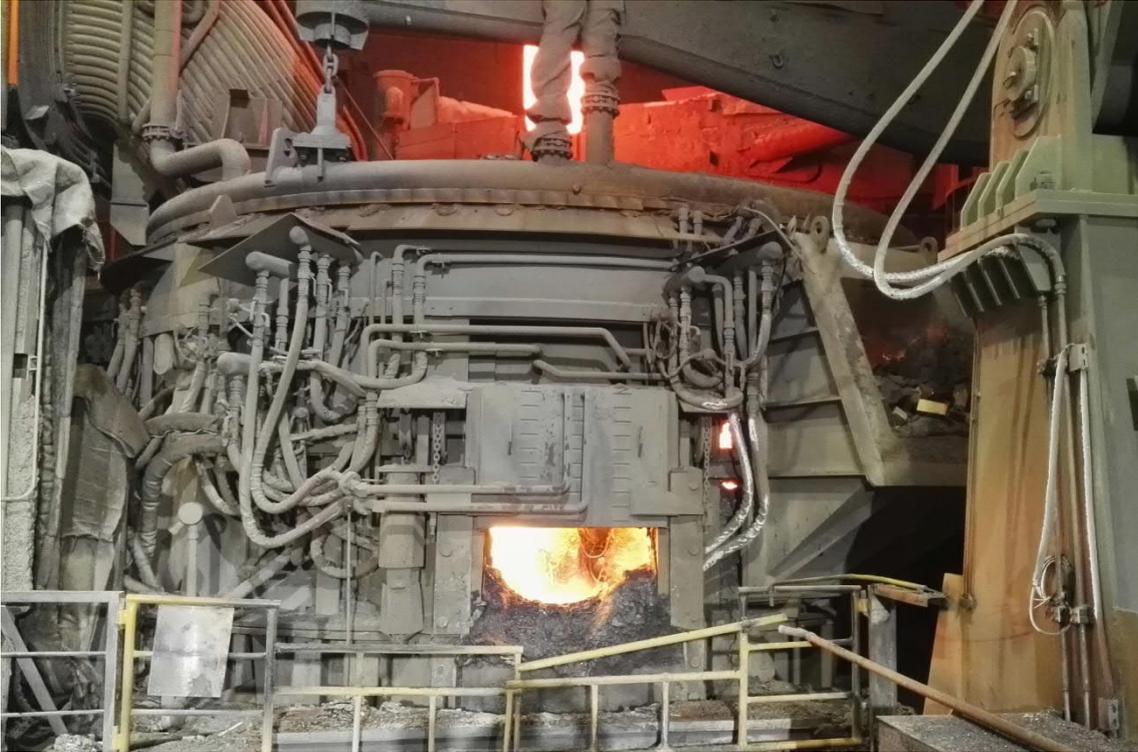
中国上海・宝山鋼鉄のツインシェル式電気炉の更新を完工

- 電力利用効率化により生産コストを削減
- 使用原料の自由度を改善
- 電解陽極の耐久性向上
- 最大 90%の溶銑配合率での生産が可能

プライメタルズテクノロジーズ（Primetals Technologies）は、中国の Baoshan Iron and Steel Co Ltd.（以下、宝山鋼鉄）の上海製鉄所において、20 年以上前に設置されたツインシェル式直流電気炉の近代化工事を完工し、最終受領書（FAC）を受領しました。本プロジェクトでは、上部と下部のシェルを再設計し、新しく耐久性の高い電解陽極を搭載しました。電力効率の改善で生産コストを削減するとともに、使用原料の自由度がアップすることから、最大 90%の溶銑配合率での操業が可能になりました。

宝山鋼鉄は、新たに発足した、年産能力 7 千万トンを誇る世界第 2 位の鉄鋼メーカーである宝武鋼鉄集団有限公司（Baowu Steel Group Corp Ltd）の一員です。宝山鋼鉄は、中国国内と国際市場向けに高品質の鉄鋼製品を生産しています。今回更新されたツインシェル式電気炉は、構造用鋼向けのビレットおよび条鋼製品の製造ラインに組み込まれており、その出鋼重量は 150 トンです。

今回の近代化プロジェクトで、当社は主要機器のエンジニアリング、製作、納入を担当しました。水冷式炉壁パネルを備えた上部シェルは全面的に再設計され、下部シェルには新たに空冷フィン方式電解陽極が取り付けられました。これにより全体的な電力効率が改善され、生産性の向上が実現しました。さらに新しいバーナー加熱システムも導入され、同基では最大 90%の溶銑配合率での操業が可能になりました。このほか当社は、当工事における据付および試運転の指導・管理も担当しました。



宝山鋼鉄の上海製鉄所にある出鋼重量 150 トンのツインシェル式電気炉。

他言語（英語・ドイツ語・中国語・ポルトガル語・ロシア語）によるプレスリリース及び資料は、以下の URL よりご覧になれます。 www.primetals.com/press/

報道関係お問い合わせ先:

プライメタルズ テクノロジーズ ジャパン株式会社 社長室（広報担当：山下）
〒733-8553 広島市西区観音新町四丁目 6-22 三菱重工業（株）広島製作所内
電話 082-291-2181

プライメタルズ テクノロジーズ 公式ツイッター: twitter.com/primetals

プライメタルズ テクノロジーズ (Primetals Technologies, Limited)は本社を英国・ロンドンに置き、金属鉄鋼産業における、エンジニアリング及びプラント建設全般の世界的リーダーかつライフサイクル・パートナーです。当社は電機、オートメーション及び環境の総合ソリューションを含めた技術、製品、サービスの一式を提供しており、鉄鋼のあらゆる分野を網羅するだけでなく、非鉄分野でも最新の圧延ソリューションをお届けします。当社は、株式会社日立製作所ならびに株式会社 IHI が資本参加している三菱日立製鉄機械と、シーメンス・グループのシーメンス VAI メタルズテクノロジーズ社の統合により発足した三菱重工のグループ会社です。出資比率は三菱日立製鉄機械が 51%、シーメンスが 49%です。従業員数は全世界で約 7,000 人。詳しくは、下記 URL より当社公式ウェブサイトをご覧ください。

公式ウェブサイト: www.primetals.com

Primetals Technologies, Limited
A joint venture of Siemens, Mitsubishi Heavy Industries and Partners
Communications
Head: Gerlinde Djumlija

Chiswick Park, Building 11, 566 Chiswick High Road
W4 5YS London
United Kingdom

Reference number: PR2019101941jp